



つながる力。

大阪経済大学 教員研究トピックス

OSAKA UNIVERSITY OF ECONOMICS

2024年4月1日 更新



経営学部 経営学科 江島 由裕(えしま よしひろ) 教授

中小企業の生存と成長メカニズムを検証 実践的な起業教育にも取り組む

江島由裕教授の専門分野は、中小企業の経営論や政策論、アントレプレナーシップ論で、日本ベンチャー学会では副会長（理事）を務めています。また本学では経営学部長を務め、大阪市内にある私立大で唯一の夜間学部、経営学部第2部の責任者です。

■ 中小企業の生存、成長のカギは？事業承継を踏まえた成長までのプロセスを分析し、そのメカニズムを検証。

企業価値が10億ドルを超すユニコーン企業が誕生している一方で、生まれて10年で約7割の企業が消滅しています。江島教授がグローバルな視点から多角的に分析を行った結果、成長する企業には、「守りより攻め」「分析より行動」「既存より新規」「正確さよりスピード」が共通していることがわかりました。

また、約30年前から指摘されていながら現在も年々深刻化している中小企業の後継者不足による廃業問題についても研究しており、親族経営の中小企業では、経営判断における価値基準に特徴があること、事業承継のスタイルが家族構成などの状況で様々なパターンに分かれていることがわかっています。

■ ADHDの特性が起業や事業創造に生かせることが明らかに。ADHD×起業家の可能性を示唆。

近年、発達障害が増加傾向にありますが、世界で著名な起業家（例：IKEAやKinko's）も発達障害の1つであるADHDを抱えていることが知られています。最近の研究から、衝動性や過集中といったADHD傾向は、起業や事業創造に肯定的な影響をもつことがわかってきました。江島教授は、規律的な活動を余儀なく求められる一般的な就労には馴染みにくい発達障害者に対し、起業や事業創造という実践的キャリアの可能性を提示すべく、研究を進めています。

■ 事業創造プロセスの理解と実践を通じた「学生向け起業教育」にも取り組む。

江島教授は自らの研究成果を積極的に取り入れ、起業教育にも注力しています。起業、ベンチャー、起業家などに興味のある本学生を対象にした正課外のプログラム「大経大アントレプレナーシップ（ENT）塾」では塾長を務め、学外の起業家や経営者を講師やメンターとして招き、単なる起業ノウハウを学ぶ場ではなく、事業創造プロセスの理解と実践に関わる一連の学びに、学生が深く関わる場を創出しています。また江島ゼミでは、関西圏の大学と企業が参加する「産学連携かちぞうzemi」に参画し、企業が抱える課題に向き合い、新規事業の立ち上げに向けて活動しています。

江島由裕教授 プロフィール 詳細はこちら⇒<https://web.j8.osaka-ue.ac.jp/ouehp/KgApp?resId=S000083>

1963年生まれ、大阪府出身。博士（経営学）

経歴：米国ピッツバーグ大学大学院に学び、三和総合研究所（現三菱UFJリサーチ&コンサルティング）で主任研究員として調査研究活動に従事。2005年から大阪経済大学へ着任。

主な著書：『小さな会社の大きな力：逆境を成長に変える企業家的志向性（E0）』（中央経済社 2018年2月）

『創造的中小企業の存亡：生存要因の実証分析』（白桃書房 2014年3月）

『1からのアントレプレナーシップ』（碩学舎 2017年4月）

所属学会：日本ベンチャー学会副会長（理事）、企業家研究フォーラム副会長（理事）、全米経営学会など

受賞歴：日本ベンチャー学会清成忠男賞（書籍部門及び論文部門）、企業家研究フォーラム賞

< 本件に関するお問い合わせ先 >

大阪経済大学 企画部広報課 高濱、東 Tel：06-6328-2431 Mail：kouhou@osaka-ue.ac.jp

大阪経済大学 広報デスク（プランニング・ポート内） 福嶋、井上 Tel：06-4391-7156

<https://www.osaka-ue.ac.jp>